

- 問1 日本の諸地域の気候を比較した統計資料において、石川県金沢市のように冬の降水量が多い日本海側の気候や、静岡県浜松市のように夏の降水量が多い太平洋側の気候に対し、愛媛県松山市などの瀬戸内地方で見られる降水量の特徴として最も適切なものはどれですか。 （2021年 沖縄県公立入試 類似）
1. 一年を通じて気温の変化が激しく、夏は雨が非常に多いが冬は全く雨が降らない。 2. 一年を通じて各月の降水量が概ね100mm前後で推移し、他の地域に比べて年間の総降水量が少ない。 3. 冬の北西の季節風の影響を強く受けるため、12月から2月にかけての降水量が一年で最も多い。 4. 梅雨や台風の影響を非常に強く受けるため、夏から秋にかけての降水量が2000mmを超える。
- 問2 日本の都道府県別の統計において、レモンの収穫量が全国の約6割にあたる61.7%（2016年）を占め、日本一の産地となっている都道府県はどこですか。 （2020年 長野県公立入試 類似）
1. 山口県 2. 愛媛県 3. 広島県 4. 岡山県
- 問3 高知県の平野部では、黒潮の影響による温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用し、ナスやピーマンなどの作物の成長を早める工夫が行われています。このように、他の産地からの出荷が少ない時期を狙って、出荷時期を意図的に早める栽培方法を何といいますか。 （2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 抑制栽培 2. 近郊農業 3. 露地栽培 4. 促成栽培
- 問4 1990年代から2000年代初頭にかけての、徳島県と日本全国の小売業の動向について、売場面積の変化から読み取れる共通の背景として最も適切なものはどれですか。 （2024年 京都府公立入試 類似）
1. 徳島県と全国のいずれにおいても、この時期に売場面積が増加しており、商業活動の規模が拡大していた。 2. 徳島県では売場面積が急激に減少したが、全国的には2007年まで右肩上がりで推移していた。 3. 全国の売場面積は1991年から1994年にかけて約100万平方メートル減少しており、徳島県のみが拡大していた。 4. 徳島県では2004年に100万平方メートルを超えたが、2016年の面積は2012年よりも大きくなっており、拡大が続いている。
- 問5 瀬戸内地方では降水量が少ないため、農業用水を確保するために古くから「ため池」が多く作られてきました。この気候の要因となっている、瀬戸内海を挟んで北側と南側に位置し、湿った季節風をさえぎっている二つの山地の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 （2020年 山形県公立入試 類似）
1. 鈴鹿山脈 ・ 紀伊山地 2. 飛騨山脈 ・ 木曽山脈 3. 奥羽山脈 ・ 出羽山地 4. 中国山地 ・ 四国山地
- 問6 日本の都道府県には、県名と県庁所在地の名称が一致するものと、異なるものが存在します。次の4つの県のうち、県庁所在地の名称が県名と一致している県はどれですか。なお、それぞれの県庁所在地は、水戸市、新潟市、金沢市、岡山市のいずれかです。 ・ 関東地方に位置する茨城県 ・ 北陸地方に位置する新潟県 ・ 北陸地方に位置する石川県 ・ 中国地方に位置する岡山県 （2016年 長崎県公立入試 類似）
1. 新潟県と岡山県 2. 茨城県と石川県 3. 石川県と岡山県 4. 茨城県と新潟県
- 問7 1980年から2019年までの島根県における観光客数の推移を、分析したとき、統計上見られる特徴として正しい説明はどれですか。 （2026年 島根県公立入試 類似）
1. 世界遺産登録などの大きな行事がある際、県外客が大幅に増えることで総数が押し上げられている 2. 観光客総数の増加は、主に県内居住者が県内各地を頻繁に訪れるようになったことで維持されている 3. 県外からの観光客は長年減少傾向にあるが、外国人観光客の急増によって総数が過去最高を更新し続けている 4. 高速道路が開通した年のみ一時的に観光客が増加するが、翌年には行事の有無に関わらず元の水準に戻っている
- 問8 中国・四国地方の統計において、広島県、山口県、香川県の3県を比較した際、広島県にみられる統計上の特徴として最も適切な説明はどれですか。なお、広島県は他の2県と比較して人口規模が最も大きいものとします。 （2023年 青森県公立入試 類似）
1. 日本で最も面積が小さい県でありながら、ため池を活用した稲作とオリーブなどの果実産出額が3県の中で最大である。 2. 本州の最西端に位置する交通の要所であるため、貨物輸送量と第2次産業の就業者比率が全国1位である。 3. 広大な平野を利用した野菜栽培が盛んであり、近隣の近畿地方へ向けた近郊農業が産業の中心となっている。 4. 国際的な知名度が高い世界文化遺産が複数存在するため、外国人宿泊者数が他の県に比べて突出して多い。
- 問9 岡山県やくらしき市、山口県周南市などの瀬戸内海沿岸部には、多くの石油化学コンビナートが立地しています。これらの工場群が、内陸部ではなくあえて臨海部に集中している理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから 2. 主要な消費地である東京や大阪などの大都市に隣接しており、高速道路網による陸上輸送に有利だから 3. 製品の冷却に大量の淡水が必要なため、大きな河川の河口付近に工場を建てる必要があるから 4. 周辺の山地で採掘される石炭や鉄鉱石を、短い距離で工場へ運び込むことができるから
- 問10 ある県の農業産出額の内訳をみると、総額約4409億円のうち、野菜が約1611億円と最も大きな割合を占めており、次いで畜産が約1340億円となっています。一方で果実は約111億円にとどまっています。この統計が示す高知県の農業的特徴について、正しい説明はどれですか。 （2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 大都市に近い立地を活かしてコマツナなどの鮮度が重要な野菜を生産し、産出額を高めている 2. 広大な平野を利用した大規模な機械化により、米を主産物として野菜と組み合わせている 3. 高冷地の冷涼な気候を活かしてレタスなどの収穫時期を遅らせることで、野菜の産出額を高めている 4. 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている
- 問11 中国地方の日本海側に位置する島根県について、陸上で境界を接している都道府県の数と、その具体的な県名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 （2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 3県（岡山県、広島県、山口県） 2. 4県（鳥取県、岡山県、広島県、山口県） 3. 3県（鳥取県、広島県、山口県） 4. 2県（鳥取県、山口県）
- 問12 愛知県、大阪府、広島県、高知県の4つの県の人口構成を比較したとき、60代から70代の層が厚く、15歳未満の若年層が極めて少ない「つば型」の人口ピラミッドを示す県として最も適切なものはどれですか。 （2019年 茨城県公立入試 類似）
1. 大阪府 2. 高知県 3. 広島県 4. 愛知県

答え合わせ・解説

問1	答え 2 一年を通じて各月の降水量が概ね100mm前後で推移し、他の地域に比べて年間の総降水量が少ない。	瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているため、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によって遮られます。その結果、湿った空気が入り込みにくくなり、年間を通じて晴天の日が多く、降水量が少なくなるという特徴があります。
問2	答え 3 広島県	瀬戸内海の温暖で降水量が少ない気候は、柑橘類の栽培に適しています。特に広島県はレモンの生産において圧倒的なシェアを誇っており、全国の半分以上の収穫量を占める日本一の産地です。問題文にある「収穫量6割以上」という数字は、広島県を特定する大きな指標となります。
問3	答え 4 促成栽培	高知県の宮崎平野などで盛んなこの方法は、温暖な気候を活かして冬から春にかけて野菜を出荷するものです。他の産地の商品が市場に出回っていない時期に供給することで、農産物を高い価格で販売し、収益を上げる狙いがあります。対照的な言葉として、涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる「抑制栽培」があります。
問4	答え 1 徳島県と全国のいずれにおいても、この時期に売場面積が増加しており、商業活動の規模が拡大していた。	徳島県では1991年から2004年にかけて面積が増加し、全国的な統計でも1991年の約117（百万平方メートル）から1994年の約125（百万平方メートル）へと増加しており、さらに2007年まで右肩上がりの傾向が続いていました。このように地方と全国が共通して、一定期間にわたり小売業の施設規模を拡大させていたことがわかります。
問5	答え 4 中国山地 ・ 四国山地	瀬戸内地方の少雨の背景には、二つの大きな山地の存在があります。兵庫県や岡山県などの北側に位置するのが中国山地、徳島県や高知県（太平洋側）との境に位置するのが四国山地です。これらが障壁となり、日本海側および太平洋側からの湿った空気が入り込むのを防いでいます。特に香川県などの瀬戸内海沿岸部は、この二つの山地に挟まれているため、全国的に見ても降水量が少ない地域となっています。
問6	答え 1 新潟県と岡山県	新潟県の県庁所在地は新潟市、岡山県の県庁所在地は岡山市であり、どちらも県名と都市名が一致しています。一方で、茨城県の県庁所在地は水戸市、石川県の県庁所在地は金沢市であり、県名とは異なる名称が使われています。全国の約6割の都道府県では県名と県庁所在地名が一致していますが、北関東や北陸、近畿地方などでは異なる名称を持つ県が多く見られます。
問7	答え 1 世界遺産登録などの大きな行事がある際、県外客が大幅に増えることで総数が押し上げられている	島根県の観光動態を分析すると、県内居住者による観光客数は比較的安定した推移を示しています。これに対し、石見銀山の世界遺産登録や出雲大社の遷宮といった大規模な社会的トピックがある時期には、県外からの観光客が爆発的に増加しており、これが観光客総数のグラフにおける急激なピークを形成する主因となっています。これは地域の文化遺産が、広域からの集客力を高める重要な資源であることを示しています。
問8	答え 4 国際的な知名度が高い世界文化遺産が複数存在するため、外国人宿泊者数が他の県に比べて突出して多い。	中国・四国地方の統計比較において、広島県は地方中心都市である広島市を抱えるため人口規模が大きく、さらに厳島神社や原爆ドームといった世界遺産を有することから、外国人宿泊者数が他の県よりも多くなる傾向があります。香川県は面積が最小で、果実栽培（みかんやオレンジ）や漁業（ハマチ養殖など）に特色があり、山口県は重化学工業や下関のふぐなどの水産業に特徴があります。
問9	答え 1 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから	瀬戸内工業地域は、波が穏やかな瀬戸内海の海上交通を活用できる利点があります。石油化学工業は、原料となる原油を海外からの輸入に頼っているため、大型船舶が直接接岸できる港湾施設を備えた臨海部が立地に最適です。このように、原料の受け入れから製品の出荷までを一貫して効率的に行うため、海に面した場所に工場が集まっています。
問10	答え 4 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている	高知県の農業は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を最大限に活用している点が最大の特徴です。統計データにおいて、果実よりも野菜の産出額が圧倒的に多いのは、ピーマンやなすなどの促成栽培が極めて盛んであるためです。同じ四国地方でも、愛媛県などは果実（かんきつ類）の割合が高くなるため、統計上の違いに注意が必要です。
問11	答え 3 3県（鳥取県、広島県、山口県）	島根県は、東側で鳥取県、南側で広島県、西側で山口県の合計3県と陸上で隣接しています。岡山県は島根県とは接しておらず、鳥取県と広島県の南側に位置しているため、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 2 高知県	高知県は、大都市圏である愛知県や大阪府、地方中心都市を持つ広島県と比較して、少子高齢化が顕著に進んでいます。若年層が仕事や教育を求めて県外へ流出する一方で、65歳以上の高齢者の割合が高まるため、人口ピラミッドは底が狭く、中高年層の幅が広い「つぼ型」に近い形状となります。